

# 土壤pHを測定し、適正なpHに改善しましょう！

土壤pHの測定することにより、草地土壤のpHの低下度合いを知ることが出来ます。土壤pHが下がることにより、一部養分吸収量が不足し、そこに育つ牧草の収量や栄養価、う牛の嗜好性にも影響が出てきます。

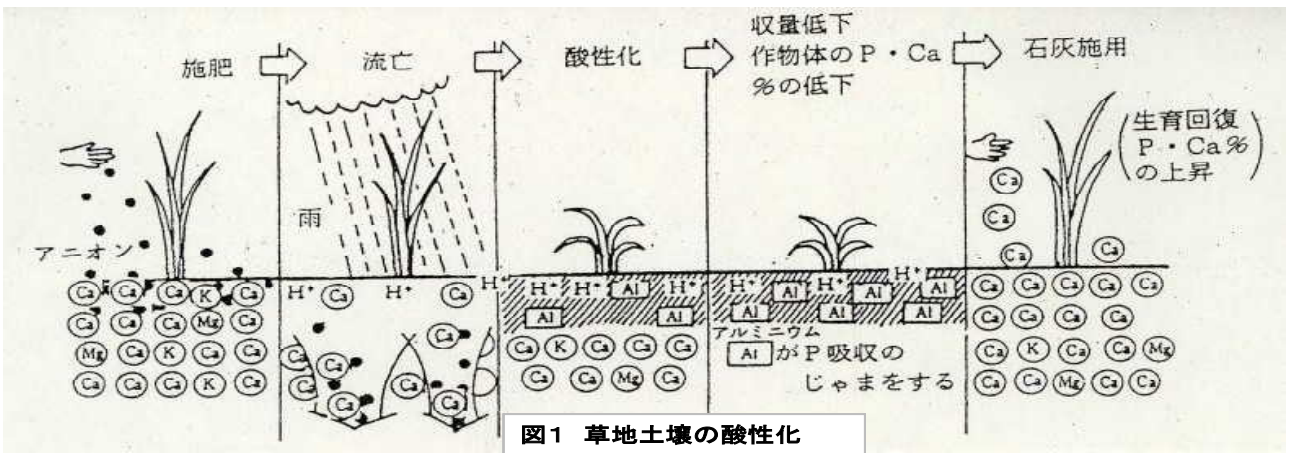
土壤pHが適正值より低いときは、石灰資材等で適正pHに改善します。(維持草地の適正pHは五・五〜六・五)

## 経年的に土壤の低pH化が進む

### 低pH化が進む

牧草地には肥料を散き続けると少しずつpHの低下が進みます。

- ① この理由としては、化学肥料に含まれる硫酸イオン(アニオン)が増えてpHを下げます。
- ② 大雨によるカルシウムやマグネシウムなどの流亡。
- ③ 牧草によるカルシウムの吸収量が多いこと。



等がいられていきます(図一)。

## 石灰資材による適正pHへの改善効果

タンカルや消石灰などの石灰資材を入れると、ほ場pHが下がるのを防ぐことができます(図二)

また、牧草のリン酸、カルシウム等の養分吸収が改善され収量も維持することが出来ます(図三)。

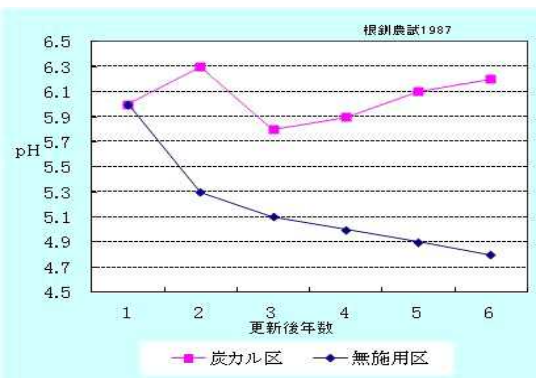


図2 タンカル施用・無施用による経年変化(土壤pH)

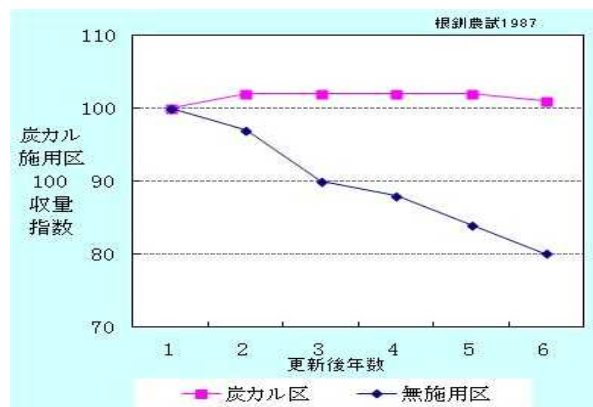


図3 タンカル施用・無施用による経年変化(収量)

## pH測定と酸度矯正は四〜六年おきを目途に

ママ科牧草を含む混播草地では、ママ科率など植生を維持するため四年〜六年おきには土壤pHを測定し、必要であれば石灰追肥を行きましょう。

